

学校評価シート（自己評価）

学校法人高千穂学園 高千穂幼稚園

作成日 2026. 3. 25

1. 園の教育目標

子どもたちのところをゆさぶり、意欲を引き出すさまざまな体験や活動を通して、豊かな心とからだの能力をバランスよく伸ばすよう日々保育を進めている。

- ① 元気で明るい思いやりのある子ども
- ② 善悪のけじめがわかる子ども
- ③ どんなことにもくじけず頑張る子ども
- ④ よく見てよく聞いてよく考える子ども

2. 具体的な目標や計画

- ① 満3歳児クラス運営の改善と発展
- ② 行事の見直し
- ③ 「れんらくアプリ」の導入に伴う業務効率化

3. 評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
【1-1】 満3歳児クラス（ふたば組）としての独立性と教育・保育内容の充実	A	昨年度は2歳児未就園児クラス（めばえ組）と一緒に活動する時間が長かったが、今年度は未就園児クラスから独立し、満3歳児クラス（ふたば組）としての教育・保育内容の充実を図った。
【1-2】 入園時期の見直しによる受け入れ体制と生活の安定	A	入園時期の見直しにより受け入れ体制が安定し、子どもが安心して過ごせる環境づくりが進んだ。保護者への理解も深まり、クラス運営の基盤を整えることができた。
【2-1】 多様な家族形態に配慮した行事内容の見直しと参加しやすさの向上	A	父親参観日（わくわく参観日）の形式を見直し、家族誰でも参加できる行事へ変更したことで、多様な家庭状況に配慮した運営が可能となった。特定の家族像に偏らず、子どもが安心して参加できる環境となった。
【2-2】 行事時期と内容の見直しによる教育効果と保護者負担の軽減	B	年度初めの親子遠足を廃止し秋の遠足に集約したことで、クラス運営が安定した状態で実施できた。子ども同士や担任との関係が深まった中での行事となり、教育的効果が高まり、保護者の負担軽減にもつながった。
【2-3】 気候に応じた安全な行事運営と保護者・子どもの満足度向上	B	猛暑による熱中症リスクを考慮し運動会を体育館開催へ変更したことで、安全面が大きく向上した。気候に左右されず安定した実施が可能となり、子どもも安心して参加できた。保護者からも安心して参観できたとの意見が多く見られた。

【3-1】 欠席連絡・お知らせ(おたより等) 配信が効率化	B	アプリ導入初期は基本データ入力や操作になれるまで時間を要し負担を感じた場面もあったが、アプリ導入により出欠連絡やお知らせ配信が一元化され電話対応や紙配布が減少した。 課題として、配信忘れのないようリマインドや防止策が必要となる。
【3-2】 保護者との情報共有が迅速かつ 正確的に行われたか	C	一部の保護者において入力忘れや確認漏れが見られた為、おたより等のお知らせは職員室前に印刷し閲覧可能とした。
【3-3】 職員全体がアプリを適切に活用 できたか(操作理解含む)	B	活用度に個人差が見られるため、より効率的な使い方の共有や操作研修やサポート体制の充実が今後求められる。

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	概ね計画は達成されていると評価できる。 達成できていなかった課題については、引き続き取り組んでいく。

○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
行事の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 各行事終了後に職員間で振り返りの時間を設け、目的・内容・負担の観点から改善点を明確化する。 子どもの主体性を重視し、準備や進行に子どもが関われる内容へと見直す。
「れんらくアプリ」の活用	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で活用方法の共有や研修の機会を設け、機能の理解と活用の均一化を図る。 お知らせ配信や連絡機能の活用ルール(配信時間・内容・頻度)を明確にし運用を統一する。
預かり保育	<ul style="list-style-type: none"> 延長された時間帯においても子ども安心して過ごせるよう、職員配置や役割分担を明確化する。 保護者への利用方法や時間変更についての周知方法。